

令和８年度 朝日山地森林生態系保護地域部会 議事概要

■ 日時：令和８年７月１５日（水） 午後１時３０分～午後３時４０分

■ 場所：鶴岡市朝日中央コミュニティセンター

■ 議題

- （１）朝日山地森林生態系保護地域モニタリング調査結果等について
- （２）令和７年度 朝日山地の中・大型哺乳類調査結果
- （３）令和７年度 センサーカメラ設置によるニホンジカ生息状況調査の結果
- （４）関東森林管理局 下越森林管理署村上支署の共有情報
- （５）令和７年度 東北森林管理局保護林管理委員会における議事概要

■ 議事概要

【委員からの主な意見】

- ・水生昆虫は季節や生息場所による変動が大きく、夏季のみの調査では十分な評価が難しいため、調査時期や地点の見直しを検討すべき。
- ・イワナの餌資源評価には水生昆虫だけでなく、森林から供給される落下昆虫も把握した方が良い。また、体長と体重から算出できる肥満度も分析すると、生息環境の評価に有効である。
- ・ニホンジカ調査については、生息密度の経年変化を把握するため、ボイストラップを終了するのではなく、センサーカメラとの併用を検討した方が良い。
- ・シカによる森林生態系への影響は全国的に深刻化しており、被害発生前の早期対応が重要。朝日山地においても、県や市町村と連携した情報共有や対策の検討を継続すべき。

【事務局からの回答】

- ・水生昆虫の春季調査は雪代の増水等による安全面の課題があり、予算や入札手続きの制約もあるため、実現可能な範囲で調査方法の改善を検討する。
- ・落下昆虫や肥満度の分析、ニホンジカの調査手法、調査項目等については、次期モニタリングに向けて委員の意見を踏まえながら検討していく。
- ・ニホンジカの激害地では、植生保護柵の設置や市町村と連携した捕獲対策を実行中。朝日山地においても、保全対象や管理のあり方等を踏まえながら引き続き検討していく。

（以上）